

平成30年8月1日

出雲市議会議長  
福代秀洋様

## 陳情書

出雲市認可保育所（園）保護者会連合会  
会長 橋崎智弥

### 病児、病後児保育施設の充実に関する陳情

#### 【趣旨】

流行病のピーク期における病児、病後児保育施設の臨時増設を求めます。

#### 【内容】

出雲市からは「年間3000件の利用計画に対し、平成28年度の利用実績は2086件であり、時期によっては、定員割れを起こしている日もある。」とお聞きしております。しかし、現実には、インフルエンザ、ロタウイルスなど、長期の休養を要する流行病はある一定時期に偏るため、その他の時期においては、定員割れを起こすのは当然であり、切実なニーズはあるものの年間利用計画における利用数が伸びない要因となっております。

保護者の中には、まだまだ制度をよく理解していなかったり、一度又は数度、受入れを断られた経験から「どうせいっぱいだから」と諦めている保護者も多く、実際の利用希望はあるにもかかわらず、利便性に不満を唱える保護者が多いのが現実です。

また、長期の休業は保護者だけでなく、職場にも大きな負担になります。子育て世代が多い職場は、流行期に複数人休業者が出ることも珍しくなく、社会全体への負担となり、甚大なる損失につながっているのも事実です。

前記の点をご理解いただき、ニーズが高まる流行期において、看護師を抱える保育施設、廃業された病院及び空き家等を活用した病児、病後児保育施設の臨時増設をお願いいたします。

以上

議 会 第 4 1 0 号

平成30年(2018)9月27日

出雲市認可保育所(園)保護者会連合会

会長 橋崎 智 弥 様

出雲市議会議長 福代 秀 洋



陳情の審議結果について (お知らせ)

平成30年(2018)8月1日付けで提出がありました下記陳情は、平成30年度(2018)9月定例会市議会において審議の結果、趣旨採択 になりましたのでお知らせいたします。

記

件 名 病児、病後児保育施設の充実に関する陳情

**【審議結果理由】**

臨時的な開設は、施設の安全面や人材の確保などハードルが高いが、保護者の負担軽減、流行期における施設の不足など願意は理解でき、まずは、施設の周知や病後児対応の運用について検討が必要である。